

「歯科矯正治療後における治療結果の長期安定性に関する研究」

へご協力をお願い

ー平成12年4月1日～平成29年8月31日まで当科において矯正治療を受けられている方へー

研究機関名 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 機能再生・再建科学専攻
口腔・顎・顔面機能再生制御学講座 歯科矯正学分野
責任研究者 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 機能再生・再建科学専攻
口腔・顎・顔面機能再生制御学講座 歯科矯正学分野 教授 上岡 寛
分担研究者 岡山大学病院 矯正歯科 助教 中村 政裕
岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 機能再生・再建科学専攻
口腔・顎・顔面機能再生制御学講座 歯科矯正学分野 助教 片岡 伴記
岡山大学病院 矯正歯科 医員 河野 加奈
岡山大学病院 矯正歯科 医員 石本 和也
岡山大学病院 矯正歯科 医員(レジデント) 田中 智代

1. 研究の意義と目的

1) 研究の意義

本研究を行うことにより、治療方針や治療方法による矯正治療結果や治療後の安定性の違いを知ることが出来ます。これをもとに患者さまに矯正治療を行うことで、後戻りが生じにくく安定性の高い歯科矯正治療を提供することができると考えています。

2) 研究の目的

矯正治療開始時、終了時、保定期間時の資料から歯科矯正治療によって得られた治療結果およびその結果の長期的な安定性（後戻りの出現頻度）を評価し、様々な不正咬合や骨格的不調和を有する患者さまに対し長期安定性の高い適切な治療方針や治療方法の選択を可能にすることが目的です。

2. 研究の方法

1) 研究対象：

平成12年4月1日から平成29年8月31日まで当院矯正歯科で矯正治療を受けられている患者さま200名

2) 研究期間：

平成29年9月倫理委員会承認後から平成32年3月31日

3) 研究方法：

平成12年4月1日から平成29年8月31日までの間に当院において矯正治療を受けられた患者さまの診療情報をもとに、治療方法の異なる2群を抽出し、治療開始時、終了時や保定期間中の資料を用いコンピュータにて歯科矯正学的分析を行い、治療後の後戻りが出現する仕組みを調べます。

4) 調査票等：

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

・年齢、性別

- ・石膏模型，側面頭部X線規格写真，正面頭部X線規格写真，CT，MRI，ナソヘキサグラフ，筋電図
- ・診察所見，治療内容，手術の記録，頭部X線規格写真分析や模型分析などの検査データ

5) 情報の保護：

調査情報は岡山大学大学院歯科矯正学分野内で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに，その他の情報は施錠可能な保管庫に保存し，研究終了後5年間保存します。

調査結果は個人を特定できない形で関連の学会，論文およびインターネットにて発表する予定です。研究結果は希望がありましたら，患者さま本人，代諾者，ご家族を対象に開示いたします。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。患者さま（又はご家族様）の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので，平成30年2月28日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様へ不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 矯正歯科

職名：助教 氏名：中村 政裕

電話：086-235-6691 ファックス：086-235-6694